＜様式1＞

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣　殿

地域型住宅グリーン化事業　適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実に相違ありません。

地域型住宅の名称	関西自然素材住宅
グループの名称	木の香のすまい
直近採択グループ番号	06-0578-0524

（グループ代表者）

代表者名	上江　英明　　代表者印
代表者所属先	株式会社　上江工務店
代表者所在地	大阪府岸和田市小松里町2020番地
代表者電話番号	072-441-1281

（グループ事務局）

事務局事業者名	株式会社　上江工務店
事務局担当者名	中屋　広美　　印
事務局郵便番号	596-0821
事務局所在地	大阪府岸和田市小松里町2020番地
事務局電話番号	072-441-1281
事務局FAX	072-443-8951
事務局担当者E-mail	build-kamie@nifty.com

※）　日付以外は、様式2-1からリンクする為、入力は必要はありません。

＜地域型住宅の生産体制＞　　＜様式２－１＞

１．地域型住宅の名称(必須)	関西自然素材住宅
２．グループの名称(必須)	木の香のすまい
３．直近採択グループ番号(必須)	06-0578-0524
４．地域型住宅供給対象地域(必須)	近畿2府4件
５．結成年(必須)	2017　年
６．グループ代表者名(必須)	上江　英明
７．グループ代表者の所属先(必須)	株式会社　上江工務店
８．グループ代表者所在地(必須)	大阪府岸和田市小松里町2020番地
９．グループ代表者電話番号(必須)	072-441-1281
１０．グループ事務局事業者名(必須)	株式会社　上江工務店
１１．グループ事務局担当者名(必須)	中屋　広美
１２．グループ事務局郵便番号(必須)	596-0821
１３．グループ事務局所在地(必須)	大阪府岸和田市小松里町2020番地
１４．グループ事務局電話番号(必須)	072-441-1281
１５．グループ事務局FAX番号(必須)	072-443-8951
１６．グループ事務局担当者E-mail(必須)	build-kamie@nifty.com

（構成員数）		（構成員を含まない理由）
Ⅰ. 原木供給	2	原木供給者が海外、または産地・原木供給者が多岐に渡り特定が困難な場合、登録できない。
Ⅱ. 製材・集成材製造・合板製造	6	製材事業者が海外である場合、登録できない。
Ⅲ. 建材流通（木材を扱わない事業者を除く）	3	製材事業者からプレカット工場に直接納入される場合、建材流通業者を経由しない場合がある。
Ⅳ. プレカット	2	手刻み加工する施工構成員はプレカット事業者(構成員)を経由しない場合がある。
Ⅴ. 設計	4	自社で設計業務を行う構成員が存在する。また建築主の意向により構成員によらない場合がある。
Ⅵ. 施工	8	
Ⅶ. 木材を扱わない流通	0	
Ⅷ. Ⅰ～Ⅶ以外の業種	0	

	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称 ※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1.都道府県の産地認証制度等によるもの 2.民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3.林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成18年2月)に基づき合法性が証明されるもの 4.クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木材製品（合法伐採木材等証明）	番号記入欄	国内・国外
A．使用する地域材に関する事項　(必須)	■　合法木材証明制度を利用する	国産材		3	国内
	■　合法木材証明制度を利用する	外材		3	国外
	□　PEFC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　PEFC認証制度を利用する	外材		2	国外
	□　SGEC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　FSC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　FSC認証制度を利用する	外材		2	国外
	□　FIPC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　クリーンウッド法に基づく証明	国産材		4	国内
	□　クリーンウッド法に基づく証明	外材		4	国外

B．平成３０年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数（必須）	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		7	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	7	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	3	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		6	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	6	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸
			未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		6	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	6	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	4	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		5	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	5	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	3	戸
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
			未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		5	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	5	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	2	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		2	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
		性能向上計画認定住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上))の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
			未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
		ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
			未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		5	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	5	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	2	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		2	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸

C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	今年度要望する棟数及び面積	0	棟	
			0	㎡	
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積	0	棟	
			0	㎡	

D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール （必須）	請負契約書の提出順に配分とする。

E．平成２９年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)										
		採択戸数	5	戸	交付申請戸数	5	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸	
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)										
		採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸	
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)										
		採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸	
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)										
		採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸	
	優良建築物型										
		採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
		採択床面積	0	㎡	交付申請床面積	0	㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	㎡	

＜様式 2-2・Ⅰ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅰ．原木供給（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に原木供給者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて原木供給者を含まないことがある場合の理由
原木供給者が海外、または産地・原木供給者が多岐に渡り特定が困難な場合、登録できない。

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅰ．原木供給						
21	Ⅰ － 10	岐阜県森林組合連合会		500-8356	岐阜県岐阜市六条江東2-5-6	058-275-4892
40	Ⅰ － 20	大木坑木有限会社		828-0021	福岡県豊前市八屋2544-14	0979-83-2059
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －				

＜様式 2-2・Ⅱ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅱ．製材・集成材・合板製造（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に製材・集成材・合板製造業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて製材・集成材・合板製造業者を含まないことがある場合の理由
製材事業者が海外である場合、登録できない。

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅱ．製材・集成材・合板製造						
21	Ⅱ － 9	有限会社 釜戸ソーミル		509-6472	岐阜県瑞浪市釜戸町1990-1	0572-63-2068
29	Ⅱ － 11	株式会社櫻井		639-3114	奈良県吉野郡吉野町丹治15-1	0746-32-0563
34	Ⅱ － 12	東亜林業株式会社		729-0105	広島県福山市南松永町3丁目2-20	084-934-6717
34	Ⅱ － 13	中国木材株式会社		737-0134	広島県呉市広多賀谷3-1-1	0823-71-7141
38	Ⅱ － 19	宇和国産加工協同組合		797-0021	愛媛県西予市宇和町野田400番地4	089-462-3778
21	Ⅱ － 22	株式会社梅田製材所		508-0421	岐阜県中津川市加子母6025	0573-79-2182
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －				

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く、長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ⅲ＞

グループ構成員に建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まないことがある場合の理由
製材事業者からプレカット工場に直接納入される場合、建材流通業者を経由しない場合がある。

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）						
27	Ⅲ － 3	株式会社木匠		595-0811	大阪府泉北郡忠岡町忠岡北3-6-27	0725-33-8780
34	Ⅲ － 13	中国木材株式会社		737-0134	広島県呉市広多賀谷3-1-1	0823-71-7141
21	Ⅲ － 14	協同組合東濃地域木材流通センター		509-7203	岐阜県恵那市長島町正家613-10	0573-25-6788
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －				

＜グループ構成員記入用リスト＞　Ⅳ．プレカット（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ⅳ＞

グループ構成員にプレカット事業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいてプレカット事業者を含まないことがある場合の理由
手刻み加工する施工構成員はプレカット事業者(構成員)を経由しない場合がある。

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅳ．プレカット						
30	Ⅳ － 15	株式会社山本進重郎商店		641-0036	和歌山県和歌山市西浜1660-60	073-447-2241
21	Ⅳ － 23	恵北プレカット協同組合		509-9232	岐阜県中津川市坂下208番地15	0573-75-4774
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －				

＜グループ構成員記入用リスト＞Ｖ．設計（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ｖ＞

グループ構成員に設計事業者を含まない場合、その理由
自社で設計業務を行う構成員が存在する。また建築主の意向により構成員によらない場合がある。

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ｖ．設計							○	○
27	Ｖ － 16	スタジオプラスアルファ		590-0522	大阪府泉南市信達牧野242-5	072-475-7280	○	
27	Ｖ － 17	上江二級建築士事務所		596-0823	大阪府岸和田市下松町1-18-31-403	072-441-1160	○	
27	Ｖ － 18	株式会社上江工務店木造建築士事務所		596-0821	大阪府岸和田市小松里町2123	072-445-9971	○	
27	Ｖ － 21	レピック株式会社		590-0024	大阪府堺市堺区向陵中町３丁4番24号	072-240-3550	○	
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅵ. 施工-1（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ⅵ. 施工-1（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）							8	○	○
27	Ⅵ － 1	76905	岡本工務店		590-0142	大阪府堺市南区檜尾1456	072-297-1312	○	
27	Ⅵ － 2	77180	株式会社上江工務店		596-0821	大阪府岸和田市小松里町2020番地	072-441-1281	○	
27	Ⅵ － 3	77266	株式会社木匠		595-0811	大阪府泉北郡忠岡町忠岡北3-6-27	0725-33-8780	○	
27	Ⅵ － 4	77283	勘六野工務店		596-0078	大阪府岸和田市南上町2-6-18	072-432-9125	○	
27	Ⅵ － 5		KAMIE		596-0821	大阪府岸和田市小松里町462-2	090-3895-0564		○
27	Ⅵ － 6	77358	株式会社総合建設業谷口		596-0073	大阪府岸和田市岸城町31-9	072-432-8554		○
27	Ⅵ － 7	77374	竹下工務店		590-0521	大阪府泉南市樽井2-18-5	072-415-1005		○
27	Ⅵ － 8	77413	北野工務店		596-0821	大阪府岸和田市小松里町2043-3-B201	072-443-7546	○	
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅵ. 施工－2（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	平成29年（1月～12月）の元請実績及び直近3年の年平均元請実績										補助金活用実績の合計数(H27～H29)			被災地に該当	ZEHビルダーに該当	BELS工務店に該当
Ⅵ. 施工-2				元請の新築住宅供給戸数		うち木造長期優良住宅の実績		うち認定低炭素住宅・性能向上計画認定住宅の実績合算		うち木造ゼロエネ住宅の実績		優良建築物の着工床面積の実績		長期優良住宅	高度省エネ型住宅	ゼロエネ住宅	○	○	○
				H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均						
27	Ⅵ－ 1	76905	岡本工務店	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
27	Ⅵ－ 2	77180	株式会社上江工務店	8 戸	9 戸	6 戸	8 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	4以上	3以下	3以下		○	
27	Ⅵ－ 3	77266	株式会社木匠	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
27	Ⅵ－ 4	77283	勘六野工務店	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
27	Ⅵ－ 5		KAMIE	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
27	Ⅵ－ 6	77358	株式会社総合建設業谷口	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
27	Ⅵ－ 7	77374	竹下工務店	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
27	Ⅵ－ 8	77413	北野工務店	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡		

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅶ. 木材を扱わない流通

＜様式 2-2・Ⅶ＞

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅶ. 木材を扱わない流通						
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					

＜様式 2-2・Ⅷ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種（畳、瓦、襖等の住宅資材の供給事業者等）

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種						
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式3－1＞

1．地域型住宅の名称・対象地域(必須)	（地域型住宅の名称）関西自然素材住宅	（地域型住宅供給対象地域）近畿2府4件
2．グループの名称・結成年(必須)	（グループの名称）木の香のすまい	（結成年）2017　年
3．過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0578-0524	

4．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア．特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	耐震等級3、断熱等性能等級4を必須とする。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	主要構造部（土台・柱）に、強度・耐久性に優れた乾燥材の桧を使用し、伝統的な在来工法とする。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	内装材として床や天井に国産の無垢の杉・桧を、壁には調湿効果の高い漆喰を使用する。	◎
④ ①～③の背景	30年以内に70%の確立でM8規模の南海トラフ地震が起こるといわれている近畿地方において、構造の安全性を重視することは必要不可欠である。また、近畿地方は降水量が少なく温暖であるが、近年の温暖化やヒートアイランド現象で起こる暑さ対策について、冷房設備を効果的に使用できるような住宅性能を持たせることが必要と考える。そのような気候環境の中で、自然素材を多く採用する事で心地よく健康的な暮らしを提供することが出来ると考える。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	構造見学会や完成見学会で国産材のPRを行う。構造材と同様、窓枠や巾木、廻り縁等内装材においても品質保持を目的として規格品を使わず、乾燥させた国産の無垢の桧・杉材を積極的に採用する。また、内装材における桧・杉の国産無垢材の使用量30㎥以上を目的とする。また当グループ内において長期優良住宅を基本仕様として推奨し、一棟でも多くお客様に割り当てができるよう配分を考える。合わせて内訳を明確にし、H28年度から生じている配分不具合の解消を目指す。	○

イ．効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】					◎、○記入欄
a	①-1 用材の寸法規格化	■ 行っていない	□ 行っている→	内容：	
	①-2 使用建材の統一	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：土台柱は桧乾燥材、横架材は米松乾燥材使用。窓枠、巾木、廻り縁は桧・杉無垢材使用とする	◎
	①-3 標準仕様の設定	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：自然素材仕様とし、床・天井に杉・桧材を使用。壁に調湿性に優れた漆喰・珪藻土を使用とする	◎
	②-1 建材・資材調達の共同化	■ 行っていない	□ 行っている→	内容：	
	②-2 調達事務の合理化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：和歌山・岐阜・奈良の木材産地へ森林組合等より直接無垢材を多量仕入れし、グループ内倉庫にて在庫、乾燥をさせる	◎
	③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	■ 行っていない	□ 行っている→	内容：	
	④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない	■ ある →	内容：無垢材多量仕様のため、当グループ加工場にて加工仕上げをし、現場へ搬入とする	◎
b	① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない	■ ある →	内容：住宅省エネルギー技術・施工（設計）技術者講習に沿った現場施工とする	◎
	② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない	■ ある →	内容：住宅省エネルギー技術講習内訳に基づく、現場の自主検査をする	◎
	③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	□ ない	■ ある →	内容：各部所ごとの詳細内訳見積り（約40ページ）を、建築主様へご説明の上、成約とする	◎
	④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない	■ ある →	内容：建築主様の了承の上、構造から完成の見学会を開催させていただき、自然素材住宅の普及、促進をする	◎
c	① 週休2日制の導入の取組	□ ない	■ ある →	内容：工事の工期を施工内訳等打合せ後、受注者に無理のない工程を組込み、休日を確保できるようにする	○
	② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	□ ない	■ ある →	内容：住宅建築における各業種の施工賃金(単価)を、管理者と施工者が施工工法打合せ上の、請負金を確定する	○
	③ 社会保険への加入	■ ない	□ ある →	内容：	
	④ 安全及び健康の確保のための取組	□ ない	■ ある →	内容：工事従事者(高技能経験者)が若手技能者の育成ができ、建築業を魅力的な仕事とし、処遇の改善、技能技術の振興を含めた地位の向上を図り、中長期的な担い手の確保の取組みを行う	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	当グループは全て大工工務店のメンバーで構成しており、伝統技術の継承と、無垢材の良所を市場へ出せればと思い、できるだけ真壁作りを推奨する				○

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－２＞

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）関西自然素材住宅	（地域型住宅供給対象地域）近畿２府４件
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）木の香のすまい	（結成年）2017　年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0578-0524	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ．長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】						◎、○記入欄
a	①住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：グループで維持管理計画を作成して、住宅履歴情報を明確にする	◎
		①-2 情報サービス機関の活用	□ ない	■ ある →	内容：評価機関へ情報活用する	◎
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	□ ない	■ ある →	内容：住宅履歴書による、情報の確認をする	◎
	②メンテナンス基準の整備	②-1 点検の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：点検内容、定期的なメンテナンスの計画を設定する	○
		②-2 補修の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：定期的な点検時に補修等のチェックを行う	○
		②-3 点検補修実施の確認手法	□ ない	■ ある →	内容：事務局管理による連絡実施とする	○
	③住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	□ ない	■ ある →	内容：年2回事務局主催にて行う	○
		③-2 DIY体験会等の実施	□ ない	■ ある →	内容：メンテナンスDIYは、無垢材等に実物で説明し、施主様に実行していただく	○
		③-3 その他の相談会等の実施	□ ない	■ ある →	内容：グループ事務局で随時対応とする	○
	④	維持管理委員会等の設置	□ ない	■ ある →	内容：グループ事務局にて維持管理の勉強会を実施する	○
	⑤	その他の維持管理の手法	■ ない	□ ある →	内容：	
b	①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	■ ない	□ ある →	内容：	
	②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	□ ない	■ ある →	内容：グループ事務局と施工管理者にて定期的に勉強会を行う	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。						

エ．グループの技術力の向上

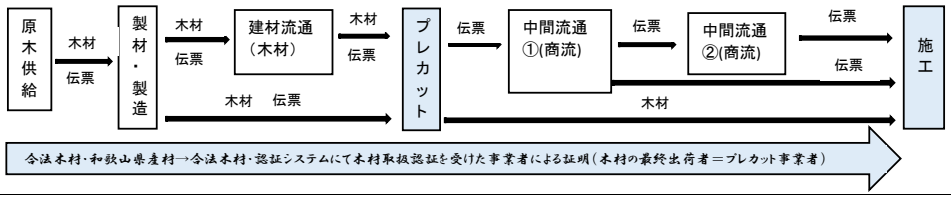
【平成30年度対応方針】						◎、○記入欄
a	①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	□ ない	■ ある →	内容：	◎
	②-1	品質管理のための共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：	◎
	②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法	□ ない	■ ある →	内容：	○
	③-1	需給計画の策定	■ ない	□ ある →	内容：	
	③-2	技術力向上のための中長期的な計画	□ ない	■ ある →	内容：	○
	④	③に基づく業種ごとの合理化の取組	□ ない	■ ある →	内容：	◎
b	①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数　5		今年度の参加目標人数　2	
	①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数　4		今年度の参加目標人数　4	
	②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組	□ ない	■ ある →	内容：	○
c	①	新たな技術等の導入	□ ない	■ ある →	内容：	○
	②	新たな技術等の開発	□ ない	■ ある →	内容：	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			該当なし			

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）関西自然素材住宅	（地域型住宅供給対象地域）近畿２府４件
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）木の香のすまい	（結成年）2017 年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0578-0524	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ．地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成30年度対応方針】			◎、○記入欄
a	① 地域材利用に関する共通ルール（必須）	主要構造材は地域材を使用し、合法木材証明材50%以上使用する	◎
	② 地域材利用の1棟当たりの割合（必須）	□ 50%未満　■ 50%以上　□ 80%以上	◎
	③ 標準的な地域材の使用部位（必須）	主要構造材　土台：□ 使用していない　■ 使用している 柱：□ 使用していない　■ 使用している 梁・桁等の横架材等：□ 使用していない　■ 使用している 羽柄材　間柱、根太、垂木等：■ 使用していない　□ 使用している 造作材　枠材、廻縁等：■ 使用していない　□ 使用している 板材　壁板、床板等：■ 使用していない　□ 使用している	◎
	④ 地域材の流れ（フロー図）などグループの取組に関する補足説明	○地域材は原木供給構成員から製材・木材流通構成員を通じ、プレカット構成員が購入加工し、直接施工構成員の現場に納品する。 ただし、プレカット構成員が製材構成員から直接仕入れる場合は、木材流通構成員を含まない場合がある。 ○商流として、プレカット構成員と施工構成員との間に木材を扱わない中間流通事業者（商流）が介在する場合がある。（1～2事業者） ○合法木材の一部については原木供給者が 海外または産地や原木供給者が多岐に渡り 特定が困難な為、構成員登録ができない。 その場合は、製材・製造の構成員のよる 合法性証明を持って地域材の証明とする。  	
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	□ ない　■ ある →　内容：　岐阜・和歌山・奈良への産地買付。多量仕入在庫	◎
	①-2 地域材価格の共有の仕組	□ ない　■ ある →　内容：　各地域材の情報を各工務店へメールで配信する	○
	② グループ全体における地域材の需給予測	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：　1棟に30㎥以上を内装仕上材使用とする	◎
c	①-1 畳の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：　プランニング時に畳室・畳コーナーを提案している	○
	①-2 和瓦の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	①-3 襖の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：　和室には提案している	○
	①-4 障子の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：　和意匠と射熱、省エネの説明をし提案している	○
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：　内装仕上材における桧・杉国産材を30㎥以上使用する	◎
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：　建具材の無垢材作成と、枠材等の杉・桧材	◎
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：　通風プラン提案を行っている	○
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：　当グループ施工事業者が建築する市町村のまちづくりルール、築計画に取組み、策定にあたっては、協議検討し、関係地権者の合意形成に努める	
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：　外壁を漆喰、屋根を切妻（瓦者にはガルバリウム）として外観の和風提案をしている	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		該当なし	

カ．その他

【平成30年度対応方針】		◎、○記入欄
東日本大震災の復興に資する取組	該当なし	
平成28年熊本地震の復興に資する取組	該当なし	

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）関西自然素材住宅	（地域型住宅供給対象地域）近畿２府４件
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）木の香のすまい	（結成年）2017 年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0578-0524	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ．グループが取組む木造住宅・建築物の特徴
※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

○当グループの認定低炭素住宅、ゼロエネルギー住宅への取組みへの考えと特徴

・前年度当グループは長寿命型（長期優良住宅）のみの申込登録でしたが、2020年の省エネルギー施策にむけ、認定低炭素住宅、ゼロエネルギー住宅を推奨し、標準的な住宅にすることを目標と考え、提案していきます。

・当グループ施工業者メンバーは、全て大工工務店のため、構造・耐震に対しては教養や知識があるのですが、省エネルギー住宅施工に関しては少し、他グループに遅れをとっていると感じるため、今年度より取組み強化をしていきます。

・取組みのポイントとしましては、当グループ内、標準仕様としています。自然素材仕上げ等に合わせ、透湿性・調湿性に優れた省エネルギー住宅造りを行います。

○当グループの認定低炭素住宅、ゼロエネルギー住宅の標準仕様
（○：認定低炭素住宅、ゼロエネルギー住宅共通仕様、※：ゼロエネルギー住宅のみの仕様）

■省エネ

○屋根（バルコニー）	セルロースファイバー　185m/m以上
○天井	セルロースファイバー　160m/m以上
○外壁	セルロースファイバー　105m/m以上（和室真壁部82.75m/m以上）
○床	硬質ウレタンフォーム吹付75m/m以上（A種3）
○床（外接床）	セルロースファイバー　135m/m以上
○土間	押出法ポリスチレンフォーム（3種bA）
○サッシ	熱貫流率2.33w/(㎡・k)
○玄関ドア	熱貫流率4.07w/(㎡・k)

■設備

○換気設備	壁付け式第三種換気設備 比消費電力0.03w/(㎥・h)
○給湯設備	
熱源機	高効率給湯器等を設置する
水栓	台所・浴室・洗面に節水栓を設置する
○浴槽	断熱措置あり（保温材等）
○照明設備	白熱灯は使用しない

※太陽光発電設備を採用する

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。